

第1表

7日四小発第117号
令和8年2月13日

日野市教育委員会 様

学 校 名 日野市立日野第四小学校
校 長 名 三 浦 寛 朗
(公印省略)

令和8年度教育課程について(届)

このことについて、日野市立学校の管理運営に関する規則に基づき下記のとおりお届けします。

記

1 教 育 目 標

(1) 学校の教育目標

「すべての“いのち”がよろこびあふれる今と未来をつくっていく力」を育むため、多様な関わりを通して、前向きに学ぶ力を育成する。

ア 目指す児童像

- ◎すすんで学ぶ 【自ら問いを立て、多様な試行錯誤と対話で学びを創る児童】
- 助け合う 【多様な個性を尊重し、互いに高め合いながら歩む児童】
- 楽しく運動する 【粘り強く挑戦し、仲間と支え合いながら運動を楽しむ児童】

イ 目指す学校像

- 個性を認め合い、粘り強い挑戦と多様な対話を通して、自らの成長に自信をもてる学校
- 信頼と安心を基盤に、令和9年度のコミュニティ・スクール移行を見据え、地域社会と共に学びを創り出す学校
- 確かな児童理解に基づき、互いの強みをつなぎ合わせ、探究的な学びを支え抜く組織的な学校

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

ア すすんで学ぶ「自ら問いを立て、多様な試行錯誤と対話で学びを創る児童」を育成するために、「夢中になれる 夢中にさせる 日野四小」の標語のもと、文部科学省研究開発学校として学びの変革プロジェクトにおける探究的な学びを深化させる。児童が自ら問いを立て、多様な試行錯誤と対話を通して学びを創り出すプロセスを重視し、一人一人が最適な学び方を選択できる「自己決定力」と「深く学ぶ力」を向上させる。

イ 助け合う「多様な個性を尊重し、互いに高め合いながら歩む児童」を育成するために、対話の工夫を通じた“いのち”の教育を推進する。また、互いの違いを認め合い、自他を大切にしながら共に課題を解決しようとする豊かな人間性、道徳性、社会性を育むため、特別活動の充実を図り、児童の自治的・自発的な活動を促進する。

ウ 楽しく運動する「粘り強く挑戦し、仲間と支え合いながら運動を楽しむ児童」を育成するために、体力・運動能力調査等の分析から児童の実態を把握し、強みを伸ばす授業実践を展開する。目標に向かって粘り強く挑戦し、仲間と支え合いながら運動を楽しむ活動を通して、生涯にわたり自律的に健康な体づくりに取り組む態度を養う。

エ 個性を認め合い、粘り強い挑戦と多様な対話を通して、自らの成長に自信をもてる学校にするために、みんなで話し合い、自分たちの手で学校を創り上げる「学校行事」や、自身の好きなこと・得意なことを発信し認め合う「四小フェスティバル」等を通し、多様な他者と合意形成を図りながら、よりよい集団生活を自ら創造しようとする態度を育む。

オ 信頼と安心を基盤とした地域社会と共に学びを創り出す学校にするために、令和9年度からのコミュニティ・スクール移行を見据え、保護者や地域住民が学校運営や教育活動に主体的に参画する仕組みを構築する。地域社会の専門性や資源を学びに取り入れることで、学校・家庭・地域が一体となり、児童の挑戦と成長を多角的に支え合う協働体制を確立する。

カ 確かな児童理解に基づき、互いの強みをつなぎ合わせ、探究的な学びを支え抜く組織的な学校にするために、幼稚園・保育園、中学校、関係機関とのネットワークを深化させることで一人一人の教育的ニーズに寄り添い、組織的な支援体制を構築する。発達の特長や状況を適切に把握した教育相談の充実を図り、児童が安心感の中で自分の強みを生かし、多様な他者と共に学び、育ち合うことができる環境を整える。

2 指導の重点

(1) 各教科、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動

ア 各教科

- ① 一人一人の興味・関心に応じた学びの充実のため、教育活動「マイプランスクール」を推進し、個人探究を通して主体的・対話的に自分の学びを獲得させるとともに、年間3回以上の外部講師を招聘した研究授業等を通して、その効果検証を行う。また、認められる楽しさを味わわせるため、学びのアウトプットを保護者や地域社会へ発信する機会を設定し、社会に開かれた教育課程を実現する。
- ② 学力調査の結果を踏まえ、学力の基礎基本を定着させるため、第3学年以上の算数科習熟度別指導を充実させるとともに、一人1台学習者用端末を「思考・探究のツール」として効果的に活用する。個々の習熟度や特性に応じたきめ細かな指導により、確かな学力を育む。
- ③ 指導と評価の一体化のため、組織的に学習評価の「妥当性」「信頼性」を高め、学校全体として学習評価を充実させる。児童自らが学びの軌道を振り返る自己評価の場を充実させるとともに、教員が評価結果を授業改善に直結させるサイクルを確立する。
- ④ 教科担任制等を推進することにより教員の専門性を生かした質の高い授業を提供し、児童が安心して学ぶ力を高めることを目指す。複数の教員が多角的に児童を見守り、個々のよさを認め合う指導体制を整えることで、自律的に挑戦できる環境を構築する。

イ 特別の教科 道徳

- ① 道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てるため、児童が自ら問い直し、多様な価値観に触れる「考える道徳」「議論する道徳」へと授業改善を行う。他者との対話を通して自己の生き方を見つめる場を設けるとともに、教育活動全体を通じて豊かな道徳性を育む。
- ② “いのち”の教育（心の教育）の推進のため、道徳授業地区公開講座や保護者会等における多様な関わりを重視する。地域・家庭との対話を通し、互いのよさを認め合いながら、児童の豊かな心を一体となって育む道徳教育の協働体制を構築する。

ウ 外国語活動

- ① 日本と諸外国の言語や文化を体験的に理解させるため、外国語活動の授業を充実させる。多様な価値観に触れる活動を通して、英語で表現する楽しさを味わわせるとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする資質・能力を育成する。
- ② 国際的な対話力の素地を養うため、専科教員とALTが連携し、本物の英語に触れる学習活動を推進する。ICTを活用した海外とのオンライン交流や、外国人を招いた対面交流など、生きた英語を使い他者と心を通わせる体験活動を充実させる。

エ 総合的な学習の時間

- ① 自ら問いを立て、よりよい社会を共に創り出そうとする態度を育てるため、地域を学びのフィールドとした探究学習を推進する。地域資源を最大限に活用し、多様な他者との対話や試行錯誤を通して、納得解を導き出し共創する力を育成する。
- ② SDGs 未来都市に生きる「ひのっ子」の創造力を育むため、四小SDGsカレンダーを活用した教育活動を展開する。教育活動「マイプランスクール」と横断的に関連付け、自分事として社会課題の解決に取り組む学習を充実させる。

オ 特別活動

自治的・実践的な態度を育むため、学校行事や学級会、縦割り班活動を充実させる。キャリア・パスポートも活用し、みんなで話し合い、自分たちで学校を創る活動や、自身の好きなこと・得意なことを発信し認め合う「四小フェスティバル」等を通して、一人一人の思いや願いを形にしながらか自己を生かす能力を養う。

(2) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- ① 自ら考え判断し、行動する力を育むため、「四小スタンダード」の定着を図る。
- ② 相談体制充実のため、校内支援委員会を核に、ステップ教室やスクールカウンセラー、関係機関と組織的に連携する。
- ③ 不登校新規ゼロを目指し、欠席初日の連絡やICTによる学習支援を行う。生活指導夕会での情報共有や家庭訪問を通じ、問題行動の未然防止・早期対応に努める。
- ④ いじめ・SOS見逃しゼロのため、チェックリストを活用し、「学校いじめ防止基本方針」に基づき対策委員会を中心に組織的に対策に取り組む。
- ⑤ 安全意識を高めるため、家庭・地域と連携し、教育活動全体を通して自他の安全に配慮できる行動力を養う安全指導を行う。
- ⑥ 互いを尊重し自他の生命を守るため、「安全教育プログラム」等を活用した「生命(いのち)の安全教育」を充実させる。

イ 進路指導

- ① 社会的自立に向け、児童が「なりたい自分」を展望できるよう、「キャリア・パスポート」を活用した進路指導を充実させる。
- ② 義務教育9年間を見通した円滑な進学のため、家庭と連携し「かしのきシート」を活用した一貫性のある支援を行う。

(3) 特色ある教育

- ① 一人一人に合った学びのため、教育活動「マイプランスクール」を推進し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に実践する。
- ② 情報モラルを身に付けさせるため、各教科等の年間指導計画に位置付け、学校全体で情報活用能力と倫理観を育成する。
- ③ 豊かなスポーツライフ実現のため、「体を動かす楽しさプロジェクト」に取り組み、運動を通じた交流を深める。
- ④ 至誠いしだ保育園・万願寺保育園との「給食・お祭り交流」等のスタートカリキュラムを充実させ、新入生の円滑な学校生活と互惠性を高める。
- ⑤ 専科指導や教科担任制の成果を生かし、複数の教員が多角的に児童を見守る指導体制を確立する。教員間の連携を深め、全校体制で一人一人のよさや変化に気付き、自律的な学びを支える質の高い教育環境を構築する。

第3表

学校名 小04 日野市立日野第四小学校

3 学年別授業日数及び授業時数の配当

(1) 年間授業日数配当表

月 学年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
1	16	19	21	13	0	19	21	19	20	15	18	17	198
2	18	19	21	13	0	19	21	19	20	15	18	17	200
3	18	19	21	13	0	19	21	19	20	15	18	17	200
4	18	19	21	13	0	19	21	19	20	15	18	17	200
5	18	19	21	13	0	19	21	19	20	15	18	17	200
6	18	19	21	13	0	19	21	19	20	15	18	17	200
備考	・振替休業日のない土曜日授業の日数は1日。 ・第1学年は、入学式が4月8日(水)のため4月の日数が2日減												

(2) 各教科、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動の年間授業時数配当表

領域		学年	1	2	3	4	5	6
各教科	国語		282 (-24)	299 (-16)	227 (-18)	227 (-18)	157 (-18)	157 (-18)
	社会				70	90	100	105
	算数		136	175	175	175	175	175
	理科				90	105	105	105
	生活		80 (-22)	75 (-30)				
	音楽		68	70	60	60	50	50
	図画工作		64 (-4)	66 (-4)	60	60	50	50
	家庭						60	55
	体育		102	105	105	105	90	90
	外国語						70	70
	小計		782	840	805	840	875	875
特別の教科 道徳			34	35	35	35	35	35
外国語活動			(0)	(0)	35	35		
総合的な学習の時間					38 (-32)	38 (-32)	38 (-32)	38 (-32)
特別活動	学級活動		34	35	35	35	35	35
	クラブ活動					(16)	(16)	(16)
	委員会活動						(11)	(11)
教育活動「マイプランスクール」			50	50	50	50	50	50
総計			850	910	980	1015	1015	1015
備考	・1単位時間は45分とする。 ・スタートカリキュラムを35時間実施する。 ・クラブ活動は、1単位時間60分とし、年間12回で16時間相当とする。 ・総合的な学習の時間の名称は「総合的な学習の時間」とする。 ・研究開発学校制度に基づく教育課程の特例を適用により、標準時数を変更する。 ・以下の教科の時数を扱い、50時間を教育活動「マイプランスクール」として実施する。 第1学年…国語科24時間、生活科22時間、図画工作科4時間 第2学年…国語科16時間、生活科30時間、図画工作科4時間 第3～6学年…国語科18時間、総合的な学習の時間32時間 ・モジュールを活用した指導は、15分とする。全学年、国語科で年間30回の指導のため10時間。 算数科で年間12回のため4時間とする。							